



わくわくだより

うさぎぐみ・ひよこぐみ

令和6年6月19日
奈良市立富雄南こども園
岡田美佳

今年の梅雨入りは例年より遅く、晴れている日は初夏の風が園庭を駆け抜け、照りつける陽射しも強く真夏を思わせます。暑さに慣れていないこの時期は、外気温や室温、湿度に気を配りこまめに水分をとるようにして、熱中症にならないように気をつけましょう。



<今月の遊び>

- 好きな遊び…ままごと、ブロック、車、スーパーボールすくいなど
- 製作活動…カレンダー、七夕飾り、ひまわり、ペットボトルシャワーなど
- 絵本や紙芝居、パネルシアターを見ましょう。
- 音楽に合わせて身体を動かしたり、体操をしたりしましょう。



7月・9月の予定

園行事などの都合により、休みや中止になることがあります。ご了承ください。登園される前には必ず園のホームページをご覧ください、中止などの内容があがっていないか確認してください。

うさぎぐみ(3歳児) (週2回 木曜と火曜か金曜のどちらか)		4日	5日	
		9/5	9/6	
ひよこぐみ(2歳児) (週1回 火曜か金曜のどちらか)	火	① 2日	② 16日	①9/6
	金	① 5日		
ひよこぐみ(1歳児) (月2回 第1・第3水曜)		3日	9/11	10/2
ひよこぐみ(0歳児) (月2回 第2・第4水曜)		10日	17日	9/4

トイレトレーニング

生活習慣で個人差が大きいのが排せつに関することだと言われています。近年、紙オムツの性能の良さも手伝って、オムツを卒業するのが年々遅くなっていると聞きます。ある研修会で、「オムツは取れるものでなく取るもの」と講師の先生がおっしゃっていました。子どもの排尿間隔をみてトイレに連れて行ったり、思い切って布パンツにして排尿感覚を経験させてみたり、他の友達がトイレに座っている姿や布パンツをはいている姿を見せてみるなど、工夫をしてみましょう。薄着になる夏の時期がオムツをとる絶好の機会ですが、あまりに一生懸命になりすぎると逆効果になることもあるので、お子さんの様子を見ながら無理せず根気よく取り組むようにしましょう。



夏にかかりやすい病気

夏風邪の原因の代表であるエンテロウイルスやアデノウイルスなどは高温多湿を好み、感染すると下痢や腹痛・激しい咳などの症状がみられます。ほかにも「ヘルパンギーナ」「手足口病」「プール熱」などが夏にかかりやすい病気です。夏は日照時間が長く、夏休みがあることで生活リズムもくずれやすいので、手洗いやうがいをする、しっかり食事をとる、体を冷やしすぎない、疲れた日は早く寝るなどの基本的な生活習慣を大切に、普段から免疫力を高めて予防するようにしましょう。



お願い

「ふれあい会」では、園庭の砂場などで砂遊びや泥遊びをしたり、絵の具やサインペンをつかった製作をしたり、水や氷、片栗粉等をつかった感触遊びをすることがあります。親子共に汚れてもいい服装でお越してください。また、必要に応じてお子さんの着替えをお持ちいただくようお願いいたします。

また、親子で一緒にふれあい遊びや手遊びをしたり、製作活動や体操をしたりして親子のスキンシップを図ってもらえるように計画しています。年齢の小さな子ども達が集う場ですので、目を離れた少しの時間が怪我につながることもあります。子どもたちの安全確保の為に、活動時間内のスマホなどでの写真撮影はご遠慮くださいますようお願いいたします。



☆こども園ニュース☆

毎日真夏を思わせる暑い日が続いている中、こども園の子ども達は、園庭や中庭で水や泡を使ったこの時期ならではの遊びを楽しんでいます。3歳児は砂や水の感触を楽しみながら泥んこ遊びをしています。4歳児は滑り台に水を流して勢いよく滑り降りる感覚を楽しんで遊んでいます。5歳児はトイやアルミの管を使ってコースをつくって水を流す遊びをしたり、石鹸と水を使った泡遊びをしたりしています。どちらも友達と一緒に色々試したり工夫したりして毎日取り組んでいます。このような発達段階に合わせた遊びを通して成長していったほしいと思っています。

